

さんくす

発行：笠懸町第三区広報委員会
発行所：笠懸町第三区公民館
sannkusu.kasakake@gmail.com

第2号

2014/08/01

あふれんばかりの人、納涼祭で交流

7月27日(日)に三区公民館広場で恒例となる納涼祭が盛大に開催されました。当日はかなりの猛暑、昼過ぎには、一時、寒冷前線の通過により突風をとまなう激しい雷雨となりました。そのため、育成会の役員は、子どもまつりを成功させようと、内容の調整、確認を行い、時間を30分ほど繰り延べる連絡に奔走したり、会場の一部が破損したため、急いで補修したりしました。



30分遅れの午後1時過ぎ、八坂神社の「子ども御輿(みこし)」が周辺を練り歩き、育成会の「子どもまつり」、そして、午後5時過ぎから行

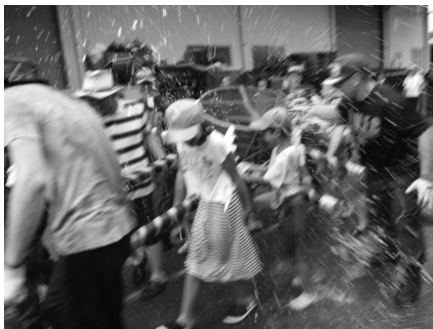
政主催の「納涼祭」がスタート。子ども八木節、ひまわりコーラスの合唱、みずほ会の踊り、八木節など、また、新たにプログラムに入った「ベリーダンス」により会場が魅惑的な雰囲気の中、最後にお楽しみの大抽選会が行われ、盛況のうちに閉幕。会場では、久しぶりに会った人たちが交わす挨拶など、楽しいひとときを過ごしていました。



一方で忘れてはならないのは、「裏方」で汗を流す協力団体員の苦勞に対する感謝の気持ちです。

企画、打ち合わせ、テントや舞台の設営撤去、飲食物の準備、調理や販売など、大変お疲れ様でした。この夏祭りを通して、区民のコミュニケーションが深まり、地域がさらに盛り上がるのが期待されます。

なお、YouTubeで「3区八木節」で検索すると動画を見ることができます。



阿左美沼小沼で水質浄化作戦

6月28日(土)に阿左美沼小沼で「農地と水・阿左美地域環境保全協議会」(武井清会長)が、環境保全の取り組みとして、炭素繊維を使った子ども向け体験学習会を行いました。

炭素繊維を取り付けたイカダと、鉄と炭素繊維を組み合わせ取り付けたイカダ2つを「炭博士」こと小島昭・群馬工業高等専門学校特命教授の



指導により子どもたちが作り、阿左美沼小沼に浮かべました。

2か月後の8月31日(日)には、イカダを引き揚げ水質の変化や、どんな生物が集まっているか調べます。この日には、地域の皆さんも対象とした「身近な水環境の保全」について、小島教授

のお話もあります。時間：午前10時～正午 会場(問い合わせ先)：阿左美沼土地改良区事務所76-4481

連載：阿左美の歴史・地域の文化財① 「阿左美」の地名由来

笠懸村誌によると、阿左美の地名表記は奈良時代(752)には「淡甘」と記され、平安時代(1170)には「皆(あさ)見」と「あさミ」、室町時代(1415)には「阿左美」と記されています。語義は「淡甘」を「アサマ」か「アワミ」と読み、これは「浅い沼(アサマ)」「浅海(アサミ)」を意味し、阿左美沼南岸に接して浅海八幡宮が祀っており、阿左美の地名は阿左美沼に由来すると思われます。

室町時代初期(1404)の阿左美は、上阿左美郷(竹沢)、下阿左美郷(上、仲、下)、と記されており、岩宿は阿左美新田(しんでん)岩宿として、江戸時代に開発されました。

明治22年(1889)に阿左美村、鹿村、西鹿田村、久宮村が合併して笠懸村が誕生しましたが、阿左美村は現在の笠懸町のほぼ東半分を占め、江戸時代末期から石(こく)高は新田郡下でも最大級の大村でした。この村が早くから開発された大きな要因は阿左美沼にあります。

まつりに向けて練習盛ん

子ども八木節に53人

5月16日(金)に三区子ども会育成会主催による三区子ども八木節教室の開校式が行われ、小学校1年生から6年生までの53人が参加。三区納涼祭や8月に行われる笠懸まつりに向けて練習がスタートしました。

練習は5月16日から8月22日までの毎週金曜日に三区公民館で行われるもので、今年は53人と例年を上回る参加となりました。三区八木節愛好会や高学年の子ども達が、初参加の子ども達にお囃子や踊りを教えます。

八木節の練習は、地域の伝統芸能を覚えるだけでなく、学年を超えて学び教える場となっているほか、子どもの送迎で顔を合わせる保護者の交流にも一役買っているようです。

関係者は「来年も参加者を募集する予定で、皆様のご協力をお願いしたい」と話していました。



笠懸町子ども会球技大会 善戦！3位入賞

6月8日(日)に笠懸中学校体育館で、夏季子ども会球技大会(ドッジボール)が開催されました。

三区からは1年生から6年生までの男女混合チームとして、合計13名が出場し、上位入賞を目指し熱戦が繰り広げられました。手伝いとして参加した役員の方も大きな声援で子ども達の活躍を応援しました。

出場した7チームで予選リーグが行われ、接戦を勝ち上がり三区は予選3位で通過しました。決勝トーナメントでは準決勝で惜しくも敗退。昨年度の夏季球技大会と同じく第3位となりました。

昨年度のメンバーで優勝旗を手にした秋季球技大会は、チー



ひまわりコーラスは、毎月第2、4月曜日、午後7時30分から9時まで、三区公民館のピアノがあるホールで合唱の練習をしています。

平成12年に、分館長をしていた森田敏雄さんの声掛けにより結成されました。ひまわりコーラスを指導する武井登美代先生によれば、「明るく、楽しく、元気よくを合い言葉に、みなさんと一緒にやってきたら、あっという間に15年という歳月が過ぎました」とのこと。

7月に開催された三区納涼祭では、「手のひらを太陽に・しあわせのうた・歌えバンバン」の3曲を、元気よく披露しました。

また活動は、合唱だけにとどまらず、三区で開催されるいろいろな行事の準備など、地域活動にも積極的に協力して頂いています。岩野次代会長は「地域の絆・輪を大切にしています」とおっしゃいます。会員を増やして、笠懸野文化ホール(PAL)のステージに立つのが、ひまわりコーラスの「夢」だそうです。

先生を中心に会員のみなさんが、とても楽しく活動しています。「新規入会を希望される方は、公民館での練習を見学に来て下さい。♪お待ちしてま～す♪」とのことでした。



明るく楽しく元気よく ひまわりコーラス

資源ゴミ回収で育成会活動資金 協力を

三区子ども会育成会活動の一環として、資源ゴミ回収を年3回開催していて、第1回目は、6月22日(日)に開催しました。

「集まった資源ゴミはリサイクルされますが、16,506円の収入もあり区民皆様のご協力に感謝します」育成会の島村会長。「収入金は、育成会活動の財源として、行事に参加している三区の子ども達のために有効活用させていただきます」と話していました。

今年度は、育成会で企画している各種行事に例年を上回る多くの子ども達が参加しているようで、うれしいことですが、活動経費計画に苦慮しているようです。子ども達が楽しみにしている育成会行事の開催ができるよう、下記の開催日には多くの資源ゴミを持参していただきますようご協力をお願いしたいそうです。

第2回は次のとおり。開催日時:10月26日(日)9:00~11:00
開催場所:三区公民館。内容品:新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶

ムー丸となって2連覇を目指すことを目標にしています。出場メンバーは次のとおりです。(敬称略)監督:渡邊隆之、メンバー:荒川佳輝、藤生光、荒木勇太郎、藤田トキオ、武井伯、大川拓真、津久井智也、赤石匠、金井莉紗、荒木玲音、丸本泰成、和泉大和、藤生愛琉、役員:島村優子、金井理絵、石内美保、小倉かおり、海発真弓、永田愛、金澤亮子、久保田千秋、荒川育代

青パト総会と感謝祭

笠懸町第三区安全安心推進委員会は6月15日(日)に青パト実施者78名の参加で、平成26年度総会ならびに感謝祭を三区公民館で開催しました。総会ではパトロール実績が報告されたほか、新委員長に武井俊一さんが選任されました。

武井章委員長による挨拶のあと、石原みどり市長は「日頃の活動に感謝するとともに、市としてはパトロールしやすい環境を作ること、またパトロールは犯罪を未然に防ぐ抑止力として大変効果があるが、無理のないパトロールを続けて欲しい」と話しました。小柴笠懸町交番長は「パトロール車を見ることで犯罪者は警戒する。この地域は防犯意識があると判断される」とし、茂木東小校長は「日頃のお活動に感謝とお礼の機会が持てたこと大変うれしく思う」などと話しました。

パトロール実績は、平成24年度

155回に対して25年度では156回、延べ人数は共に498人、走行距離は24年度6か月で1349kmに対し、25年度では年間2688kmとなったことなどが数字とグラフで紹介されました。「パトロールの成果は何もないことが一番の成果です。その評価は数値や形として表現できませんが、活動の記録は数字で表現できます。小さな積み重ねが大きな値となって地域の安全安心に貢献している」と説明していました。また新役員人事については議案とお承認(敬称略)。委員長／武井俊一、副委員長／赤石幸雄、会計／武井正行、顧問／武井章、顧問／須藤利晴。

総会后、公民館ホールにて日頃の青パト実施者の慰労を兼ねた感謝祭が開催され実施者相互の交流の場となりました。



健康維持と筍ご飯

わかばサロンⅡ

5月7日(水)に、お年寄りの健康維持と交流の場として、わかばサロンⅡが三区公民館でお行われました。

肩たたき体操で体をほぐしたあとは、七区在住で琴やマンドリン演奏のボランティアをしている、内川栄子さんが奏でる「荒城の月」や「さくら」、「六段の調べ」に耳を傾け、大きな拍手が送られました。

また、脳のトレーニングとして、2つのチームで「うさぎとかめ」と「浦島太郎」の曲を数小節ずつ交互に歌うゲームでは、相手のメロディーを聞きすぎると、自分のメロディーがおかしくなってしまう、上手いくと拍手と歓声が上がりした。

このほか、輪投げなども行われ、体を動かす運動と頭を使うゲームで1時間ほど楽しんだあとには、民生委員が調理したタケノコご飯が振る舞われ、季節の味を楽しんでいました。この日は、グラウンドゴルフと日程が重なり、参加者が20人程度となってしまったのは、少々残念でした。

区民グラウンドゴルフ優勝は赤石幸雄さん、荻野幸江さん

第4回笠懸町第三区民グラウンドゴルフ大会が6月14日(土)、あすかホールグラウンドゴルフ場(笠懸グラウンドゴルフ場)で行われました。男子26、女子12名が参加し競技が行われました。熱戦の結果は次のとおり。

女子 1位荻野幸江さん、2位石坂ヨシ子さん、3位金井政子さん、男子 1位赤石幸雄さん、2位木暮勝利さん、3位金井一夫さん。写真:大村治雄さん89歳



日常のなにげない中で、見守り活動

独居老人の孤独死や、児童が事件に巻き込まれるなどが社会問題化する中で、三区では民生委員や行政区、親老会の方を中心に福祉部を立ち上げ、見守り活動に取り組んでいます。

安心して生活をしていくためには「地域で生活していくもの同士が支え合うことが大切」とした上で「挨拶をする・声を掛け合う・お互いの様子を気にとめ合うことこそが見守り」というものです。互いに気遣うことで異変に気づき、地域の中で発生する問題の早期発見や、深刻化を防ぐことなどが期待されます。

重要なのは「監視」ではないこと。森田峯治さんは「日常の何気ない生活の中で気遣うことこそが見守りで、見守りを続けていくことが大切」と話しています。同時に「見守り活動を一人でも多くの人に知ってもらい、活動に参加して欲しい」と呼びかけています。

見守り活動で異変に気付いた場合は、みどり市社会福祉協議会76-4111又は福祉部の役員に連絡して下さい(敬称略)。森田峯治、大須武夫、赤石晋一、赤石幸雄、赤石和子、赤石眞智代、赤石礼子、中村篤美。

町内の見守り活動

見守り活動は、地域でできる活動として取り組まれている福祉活動。

笠懸地区では笠懸町地区福祉部が行政区の10地区ごとにあり、その代表である笠懸町地区福祉部会長会でテーマを決めて日々取り組まれている、見守り活動もその一環として行われている活動です。

青色自主防犯ボランティア募集

近年、小中学生が登下校中に誘拐など犯罪に巻き込まれる事件が増えています。地域の安全安心を守るため住民による青色自主防犯パトロールに参加しませんか

活動参加回数は2か月に1回程度が目安です。
毎週火曜日、木曜日 昼間部と夜間部があります。連絡先 笠懸町第三区安全安心推進員会 090-4396-9165武井まで

第三区カラオケ愛好会・参加者募集

第三区カラオケ愛好会では、参加者を随時募集しています。カラオケをとおして地域の交流を広げましょう。

日時：毎週火曜日（月4回）
午後1時30分～4時。会場：
第三区公民館
申し込み・問い合わせ先：
76-3558高木三郎（代表）
または76-2673武井道夫
まで。



●行事日程

- ★10月26日（日） 三区子ども会育成会・資源ゴミ回収(詳細は2面)
- ★11月15日（土） 荒神山芝刈り 今年は三区が幹事です。ご参加下さい。

●わかばサロン

わかばサロンⅡ

- ★9月3日（水） ★11月5日（水） ★1月14日（水）

- 広報委員募集 「さんくす」では広報委員を募集しています。
sannkusu.
kasakake@gmail.com
又は090-3146-5969新井まで。



西湖いやしの里根場

三区体育協会 区民ハイキング 参加者募集！

この秋、毎年恒例の区民ハイキングの参加者を募集します。
今年は、富士山を望む山梨県の河口湖畔散策と西湖いやしの里根場に行きます。もちろん、昼食時にはお風呂もあります。奮って申し込みください。

【日 時】10月5日（日）午前6時30分 出発（帰着予定 午後7時10分頃）

【集合場所】笠懸町第3区公民館

※集合後、貸切バス2台に分乗して移動します。

【参加費】大人4,000円、こども2,500円

【募集人数】先着80名

【申込方法】次の体協役員に連絡してください。

佐藤英明 76-2539 岡田 勉 77-0057 (森田石油 76-3444)
藤生大介 76-2805 下山浩一 76-0170 赤石知己 76-3458
塚本吉昭 77-1560 植竹春彦 76-4036 赤石光史 30-5033
森田 徹 76-2762 堤 康吉 76-3356 中村正義 51-3029

【主なコース】

- カチカチ山ハイキングコース～ロープウェイで移動し、ナカバ平、天上山護国神社などをめぐります。
- 西湖いやしの里根場（さいこいやしのさとねんば）～山梨県南都留郡富士河口湖町にある野外博物館。台風災害で移転した集落の跡地に復元した茅葺民家などがあります。

ちょっとピンぼけ 当地区の田んぼは6月中に田植えも終わり、今では水を渡る風が水の蒸発と稲の蒸散効果によりひんやりとしていて目にも肌にも涼しく、さわやかな風となって美しい田園風景を醸し出しています。

ところで、一粒の籾種からどの位のコメが取れるでしょうか。一粒から1本の苗が出来ます。その苗が5本程度の穂に分かれて成長します。そして1穂から70～100粒稔り最終的に350粒～500粒収穫できます。一粒の籾種から始る稲作は食糧としてだけでなく季節作業や農耕儀礼をつうじて独特の芸能や文化を創出し地域祭事の源となっています。今年もこの猛暑を乗り越え収穫に感謝する祭事が各地で催されることを願っています。